

Cryogenics Best Paper Award 2009 受賞

流体科学研究所 石本淳 准教授は、「二流体ノズルを用いた極低温微細固体窒素粒子生成法に関する数値解析的研究」により、Cryogenics Best Paper Award 2009 受賞し、2010年7月22日開催のICEC 23- ICMC 2010 (第23回国際低温工学-2010 国際低温材料会議, ブロツワフ工科大学, ポーランド) にて表彰されました。

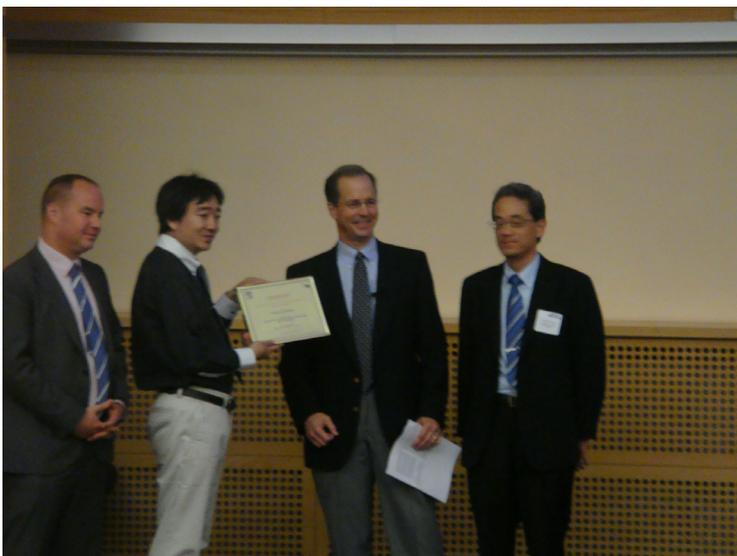
本賞は低温工学における最も権威ある国際誌"Cryogenics" (Elsevier B.V.) において1年間に投稿された全論文の中から最も優れた論文1編に対し授与される賞であり、日本人としては初の受賞となります。

本受賞は、極低温微細固体窒素粒子の生成に関する新型融合数値解析法を開発するとともに、二流体ノズルを用いた微細固体窒素粒子連続生成技術に関する基礎実験を世界に先駆けて成功させ、低温工学分野の学術的進展に格段の貢献をなした業績が評価されたものです。

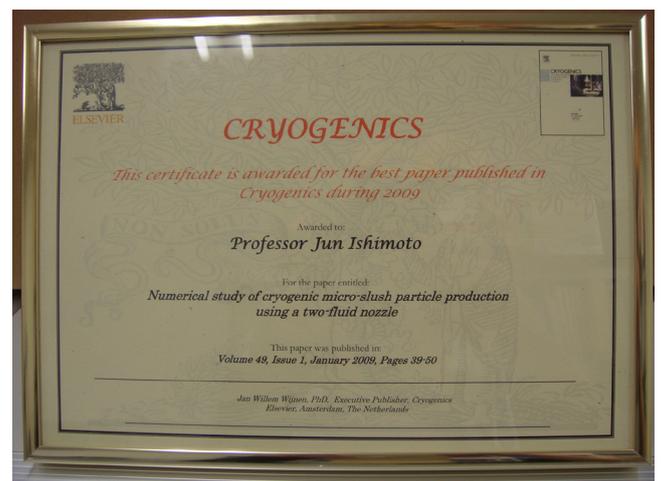
受賞対象である極低温微細固体窒素粒子生成システムの実用化により、次世代型スーパーコンピュータープロセッサ用冷却, アッシングレス半導体ウェハー洗浄, 高エンタルピー固体水素ストレージング, ならびに高温超伝導(HTS)ケーブル冷却技術等のブレークスルーとなりうる広範囲異分野にまたがる工学的応用が期待できます。

受賞論文:

Numerical study of cryogenic micro-slush particle production using a two-fluid nozzle,
Cryogenics, Volume 49, Issue 1, January 2009, pages 39-50.



表彰式の様子 (左から2番目が石本淳 准教授)



受賞楯

問い合わせ先:

石本 淳 准教授

東北大学流体科学研究所 附属流体融合研究センター

実事象融合計算研究分野

電話: 022-217-5271

E-mail: ishimotojun@ieee.org

URL: <http://alba.ifs.tohoku.ac.jp/>